

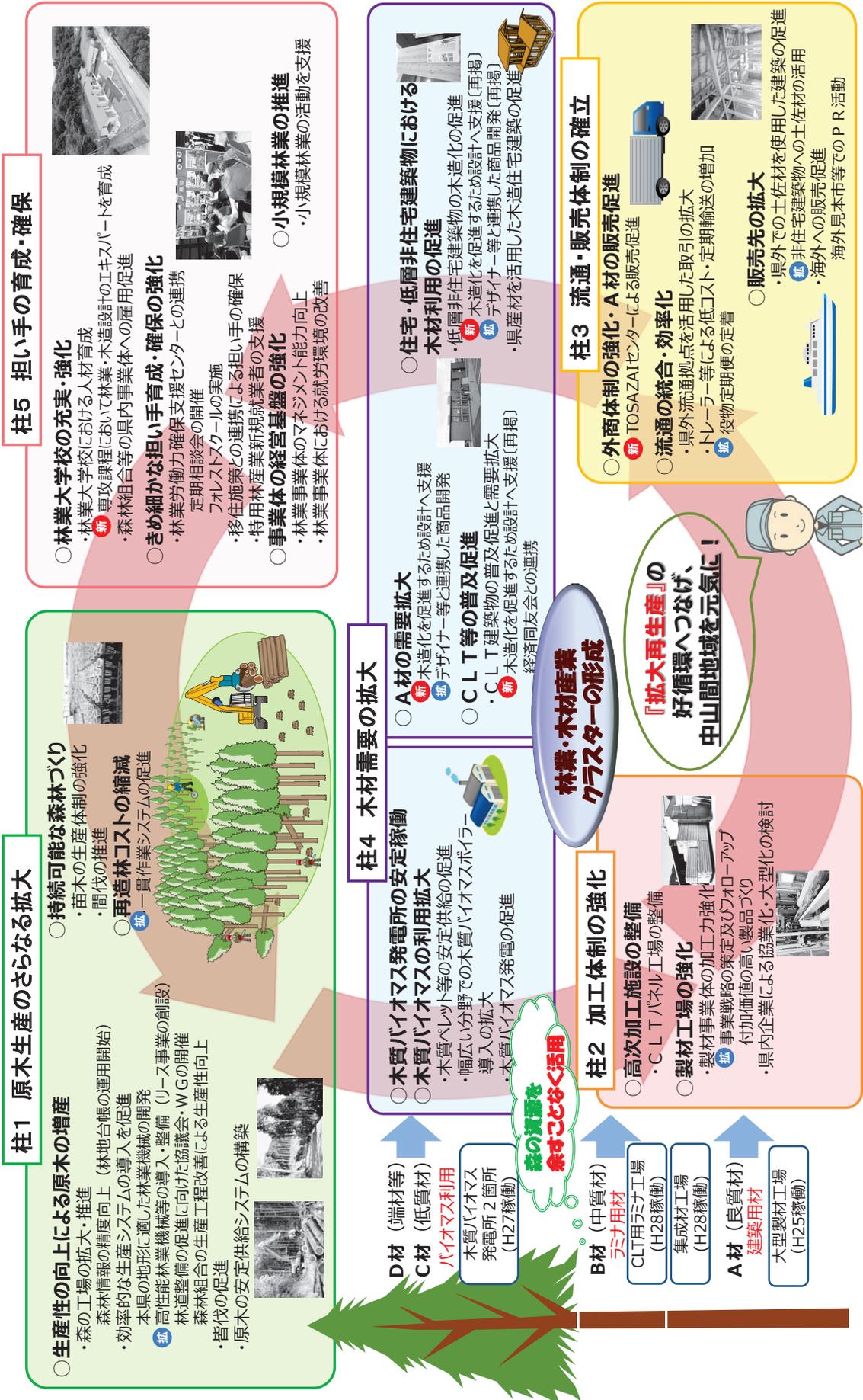
林業分野の展開イメージ

～山で若者が働く、全国有数の国産材産地～

分野を代表する目標
木材・木製品製造業出荷額等
原木生産量

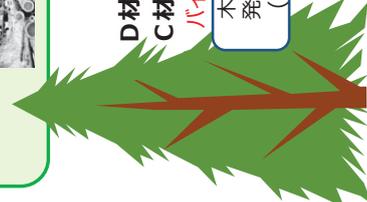
出発点 (H26) 204億円⇒現状 (H28) 207億円⇒4年後 (H31) 220億円⇒6年後 (H33)232億円⇒10年後 (H37) 256億円
 出発点 (H26) 61万m3⇒現状 (H28) 62.8万m3⇒4年後 (H31) 78万m3⇒6年後 (H33)81万m3⇒10年後 (H37) 90万m3

構築した川上から川下までの仕組みを生かして、“森の資源”を余すことなく活用



林業・木材産業 クラスタの形成

『拡大再生産』の好循環へつなげ、中山間地域を元気に!



林業分野の体系図

分野の目指す姿	○ 山で若者が働く、全国有数の国産材産地
分野を代表する数値目標	木材・木製品製造品出荷額等 出発点 (H26) : 204億円 ⇒ 現状 (H28) : 207億円 ⇒ 4年後 (H31) : 220億円 ⇒ 6年後 (H33) : 232億円 ⇒ 10年後 (H37) : 256億円 原木生産量 出発点 (H26) : 61万m ³ ⇒ 現状 (H28) : 62.8万m ³ ⇒ 4年後 (H31) : 78万m ³ ⇒ 6年後 (H33) : 81万m ³ ⇒ 10年後 (H37) : 90万m ³

戦略の柱	1 原木生産のさらなる拡大	2 加工体制の強化	3 流通・販売体制の確立	4 木材需要の拡大	5 担い手の育成・確保
戦略の方向性	・成熟した森林資源を最大限に生かせる仕組みづくりを推進する	・消費者ニーズに対応した競争力の高い加工事業体を育成する ・CLTハナル工場をはじめとする林業・木材産業クラスターの形成を目指す	・大消費地や海外をターゲットとした、組織的・継続的な外荷活動を展開する	・低層非住宅の木造化等により飛躍的な需要拡大を図る ・木質バイオマスの利用拡大を促進する	・優れた人材を育成・確保する
戦略目標	・森の工場からの原木生産量(間伐)の拡大 ⑥: 10.9万m ³ → ⑦: 15.1万m ³ → ⑧: 15.3万m ³ → ⑨: 17.0万m ³	・県産製材品の出荷量の増加 ⑥: 23.3万m ³ → ⑦: 27.4万m ³ → ⑧: 28.4万m ³ → ⑨: 28.4万m ³	・県産製材品の県外出荷量の増加 ⑥: □16.1万m ³ → ⑦: □20.1万m ³ → ⑧: □19.7万m ³ → ⑨: □15.8万m ³ → ⑩: □15.8万m ³ ★ 0.0万m ³ ★ 0.1万m ³ ★ 1.5万m ³ ★ 5.4万m ³ (□: 一般製材品 ★: 高次加工品)	・木質バイオマス利用量の増加 ⑥: 35.6万トン → ⑦: 57.3万トン → ⑧: 58.0万トン → ⑨: 60.6万トン	・林業就業者数の増加 ⑥: 1,602人 → ⑦: 1,747人 → ⑧: 1,777人 → ⑨: 1,870人 ・新規雇用者数の増加(川下・累計) ③: 32人 → ④: 58人 → ⑤: 96人
取組方針・主な取組	1. 生産性の向上による原木の増産 ◆ 森の工場の拡大・推進 ・集約化に必要な森林情報の精度向上(林地台帳の運用開始) ◆ 効率的な生産システムの導入を促進 ・本県の地形に適した林業機械の開発 ◆ 高機能林業機械等の導入・整備(リース・専門の創設) ・林道整備の促進に向けた協議会・WGの開催 ・森林組合の生産工程の改善による生産性の向上 ◆ 皆伐の促進 ◆ 原木の安定供給システムの構築 2. 持続可能な森林づくり ◆ 苗木の生産体制の強化 ◆ 再造林への支援と低コスト育林の推進 ◆ 買作業システムの促進 ◆ 間伐の推進	1. 製材工場の強化 ◆ 製材工場の加工力強化 ・【拡充】事業戦略の策定支援及びフローマップ ・人材育成と設備整備の両面から支援 ◆ 付加価値の高い製品づくり ◆ 県内企業による協業化・大型化の検討 2. 高次加工施設の整備 ◆ 製材工場の整備 ◆ 構造用集成材の製造 ◆ CLTハナル工場の整備 3. 林業・木材産業クラスターの形成 ◆ 加工施設を中心としたクラスター形成の促進	1. 流通の統合・効率化 ◆ 県外流通拠点を活用した取引の拡大 ◆ トレーサー等による低コスト・定期輸送の増加 ◆ 外荷体制の抜本強化 ・【拡充】IOSAZAセンターの設置によるA材の販売促進の強化 2. 販売先の拡大 ◆ 県外での土佐材を使用した建築の促進 ・【拡充】非住宅建築物への土佐材の活用 ◆ 海外への販売促進 ◆ 海外見本市等でのPR活動	1. 住宅・低層非住宅建築物等における木材利用の促進 ◆ 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要拡大 ◆ 低層非住宅建築物の木造化の促進 ・【拡充】木造化を促進するための設計支援 ・【拡充】デザイナー等と連携した商品開発 ・【拡充】新商品の提案等によるA材需要の拡大 ◆ 県産材を活用した木造住宅建築の促進 2. CLTなどの普及 ◆ CLT建築物の需要拡大 ・【拡充】木造化を促進するための設計支援(再掲) ・【拡充】経済同友会との連携 3. 木質バイオマスの利用拡大 ◆ 木質ペレット等の安定供給の促進 ◆ 幅広い分野での木質バイオマスポイラー導入の拡大 ◆ 木質バイオマス発電の促進	1. 林業大学の充実・強化 ◆ 林業大学校における人材育成 ・【新規】専攻課程において林業・木造設計のエキスパートを育成 ◆ 森林組合等の県内事業者への雇用促進 2. きめ細かな担い手確保の強化 ◆ 林業労働力確保支援センターと連携した就業者の確保 ・定期相談会の開催 ◆ フォレストスクールの充実 ◆ 移住施策との連携による担い手の確保 ◆ 特用林産業新規就業者の支援 3. 事業者の経営基盤の強化 ◆ 林業事業者のマネジメント能力向上 ◆ 林業事業者における就労環境の改善 4. 小規模林業の推進 ◆ 小規模林業の活動を支援 ◆ 林地集約化による施業地の確保